CITIZEN®

電波時計 （掛時計） 取扱説明書

取扱説明書番号　M387-CXXZ

～ 製品の特長 ～

○標準電波を受信して正しい時刻に自動修正
○暗くなると秒針が12時位置に停止します
○電池寿命約5年

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

発売元　**リズム時計工業株式会社**

〒330-9551　埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先　お客様相談室　0120-557-005（フリーダイヤル）
受付時間 9:00 ～ 17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。　例. 8MY○○○

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

●修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

●転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

電波時計について

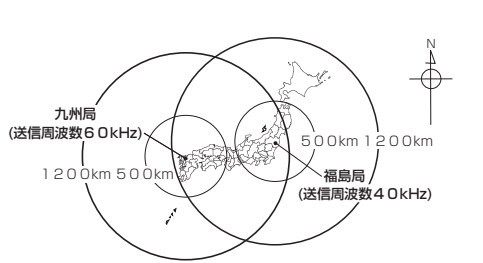
電波時計とは

電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

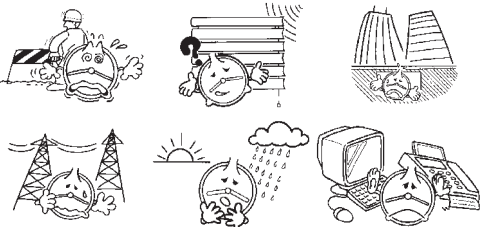
標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はがね山標準電波送信所」の2ヵ所にあります。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。

この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電波を受信しにくい環境

つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
●金属製の雨戸やブラインドの近く
●ビルの地下など
●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
●朝夕の時間帯、雨天のとき
●家電製品やOA機器の近く
●スチール机等の金属製家具の上や近く

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。**海外では電波受信機能をOFFにして手動で時刻を合わせてください。**ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信して日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

警告　「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。

注意　「**傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）

禁止　してはいけない「**禁止**」内容です。

強制　必ず実行していただく「**強制**」内容です。

■誤飲による事故防止について

警告　小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

分解禁止　分解や改造をしないでください。故障の原因になります。

注意　本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

禁止　下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

●温度が＋50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
●温度が－10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
●浴室など湿気が多いところ。
●ほこりが多く発生するところ。
●テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
●車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
●温泉場など、ガスの発生する所。
●多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
●軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

電池のご注意　（電池の正しい使い方）

電池のご使用上のポイント　**正しく使って事故をなくしましょう**

●プラス（＋）、マイナス（－）を間違えない。
●種類の異なる電池を混ぜない 。
●長期間使用しないときは電池を取り外す。
●電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
●幼児の手が届かないところに置く 。
●古い電池と新しい電池を混ぜない。
●時計が動いていても定期的に交換する。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について

●本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。㊟ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
●一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。
（例 . Panasonic オキシライド乾電池）

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

注意
●電池に傷をつけたり、分解しない。
●電池を充電しない。
●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
●電池をショートさせない。
●時計を使用しないときは電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

警告　**電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。**
衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

注意　**もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。**
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

●付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
●使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなることがあります。
●買い置きの電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなることがあります。

電池の廃棄

●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

注意　火に入れると破裂の原因となり危険です。

おもな製品仕様

使用温度範囲　－10～50℃
時間精度　標準電波受信成功直後の表示精度
　秒針　±1秒
　時分針　目盛りに対して ±3度
　標準電波を受信しない場合
　平均月差 ±20 秒（常温中のクオーツ精度）
使用電池　単3形アルカリ乾電池　JIS規格 LR6 4個
電池寿命　約5年　標準電波の受信に成功して、秒針が1日にあたり7時間暗所で停止した場合
暗所秒針停止　明暗センサーに連動して12時位置に停止
電池交換時期　秒針が常時12時位置に停止
お知らせ機能
電波時計機能　電波の受信に成功すると時刻を修正
受信局　福島局／九州局　自動選択
サーチ機能　受信局、電波強弱受信を表示
受信回数　1日に最少1回、最多6回
受信ON/OFF　ボタン操作でON／OFF切り替え
手動時刻合わせ　ボタン操作
自動受信開始時刻
　受信状態により、受信回数は変化します。
　受信開始時刻
　2時16分20秒　3時16分20秒
　4時16分20秒　12時16分20秒
　13時16分20秒　14時16分20秒

■製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品

単3形アルカリ乾電池　4個　木ねじ　1個　取扱説明書　本書　保証書　1枚

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
●ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

時計の廃棄

●お住まい地区自治体の指定にしたがってください。
●電池を取り外してください。

静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。

（正面）

時針（短い針）
分針（長い針）
秒針
受信表示ランプ
明暗センサー

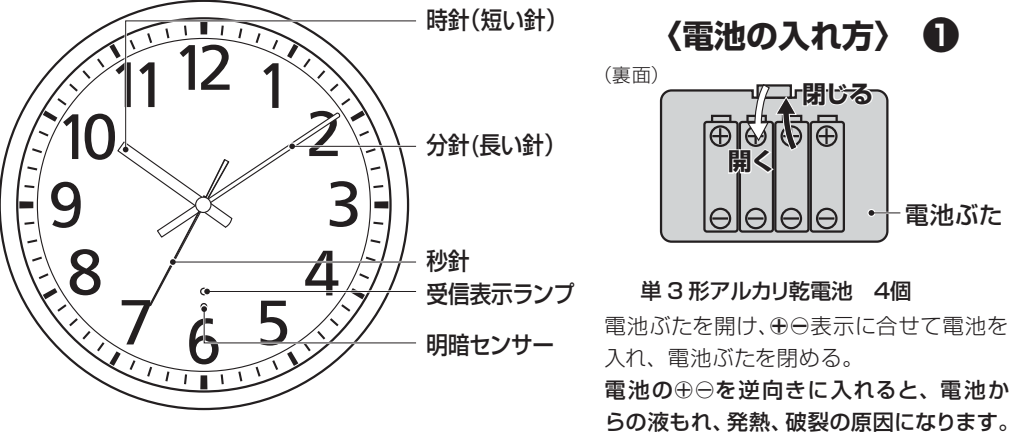
〈電池の入れ方〉❶

（裏面）

閉じる
開く
電池ぶた

単３形アルカリ乾電池　4個

電池ぶたを開け、⊕⊖表示に合せて電池を入れ、電池ぶたを閉める。

電池の⊕⊖を逆向きに入れると、電池からの液もれ、発熱、破裂の原因になります。

通常の針の動き

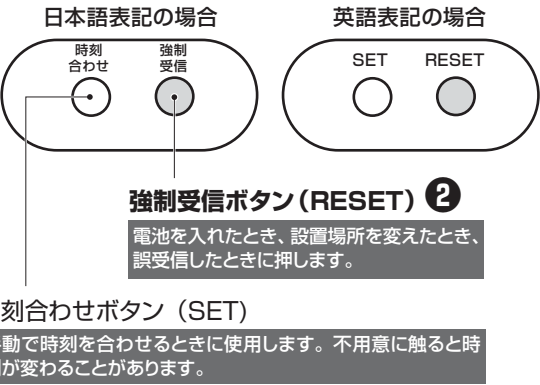
時針・分針：１０秒に１回動きます。
秒針　　　：連続して動きます。

※自動受信で時刻を修正するときに、早送りで移動したり、停止することがあります。秒針は早送りしません。

（裏面操作部）

強制受信ボタン（RESET）❷
電池を入れたとき、設置場所を変えたとき、誤受信したときに押します。

時刻合わせボタン（SET）
手動で時刻を合わせるときに使用します。不用意に触ると時刻が変わることがあります。

明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針が停止

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針を12時位置で停止し、受信表示ランプを消灯させます。
昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。
十分に明るいところで秒針が12時位置で停止している場合は、電池の交換が必要です。
（電池の交換時期お知らせ機能）参照。

標準電波ー受信の流れとサーチ機能の使い方

② 強制受信ボタンを押す

受信表示ランプ約3秒点灯、針が動き出し、受信を開始

針は4：00、8：00、12：00のいずれかで停止します。

電波サーチ

③ 受信局を表示

受信表示ランプ点灯後15〜240秒で表示

4回点滅	6回点滅	消灯したまま
福島局（40kHz）	九州局（60kHz）	受信できない
		①からやり直す

④ 電波の状態を表示

点灯	消灯
良好	受信できない

⑤ 受信開始から最長16分後 針が動き出す

受信成功 2秒に1回点滅 — 正しい時刻を表示
受信失敗 消灯 — 不正確な時刻

電波サーチ機能は、受信表示ランプの点灯または消灯により、時計がある場所の電波状態をお知らせします。

サーチ機能を使用するときの手順

① 窓際やベランダなど電波の受信しやすいところに時計を移動させます。
② 強制受信ボタンを押します。
受信表示ランプが約3秒点灯後に受信を開始。針は早送りで移動し、4：00、8：00、12：00のいずれかの時刻に停止します。
③ 受信局を表示後、受信表示ランプが点灯したら、設置したい場所に時計を移動します。
④ 電波の状態を確認します。
点灯：電波良好→受信できる可能性大
消灯：受信できない→場所を移動する
○点灯と消灯が繰り返されるときは電波が弱いため、受信に失敗する可能性があります。
○電波サーチ中に、時計の向きや位置を変えると受信表示ランプの状態が変化します。
⑤ 受信結果を表示します。
受信成功：2秒に1回点滅
受信失敗：消灯
（Ⓐ 標準電波を受信できない場合）へ

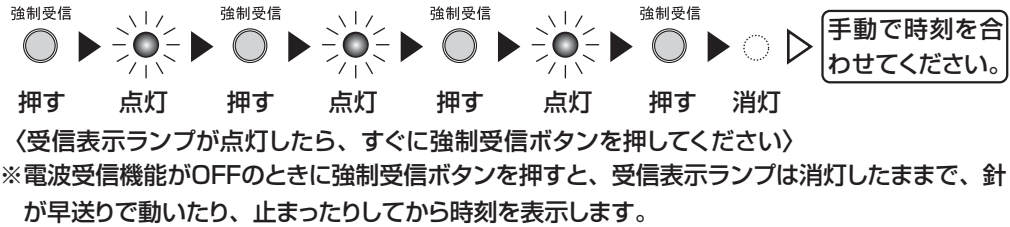
※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
※受信表示ランプは、24〜25時間以内の受信結果を表示します。

Ⓐ 標準電波を受信できない場合

●**朝までそのままにしておく**
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●**場所を変える／受信をやり直す**
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、時計の正面または裏面が電波の送信所に向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●**時刻を合わせて使用する**
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。
電波を受信しないときの時間精度は、クオーツ精度になります。

受信できない場合は、右記の操作で時刻を合わせることによりご使用になれます。

使用方法　電池を入れて、標準電波を受信して時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、（手動での時刻合わせ）を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすいところでお使いください。

❶ 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を入れる
〈電池の入れ方〉を参照して電池を正しく入れてください。

❷ 強制受信ボタンを押す　（標準電波-受信の流れとサーチ機能の使い方）参照
受信表示ランプが点灯し、受信を開始します。また、針が早送りで、４：００、８：００、１２：００のいずれかの時刻に移動して、**受信が終わるまで停止します。**
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。
※早送りの途中で針が一時停止することがあります。
※受信中はボタン操作をしないでください。

❸ 時計を掛ける
（時計の掛け方）に従い、時計を確実に掛けてください。

❹ 受信開始から16分後に受信表示ランプで受信結果を確認する
受信表示ランプが2秒に1回点滅していれば、受信に成功し、正しい時刻を表示します。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信するところを探すか、（Ⓐ 標準電波を受信できない場合）を参照してください。

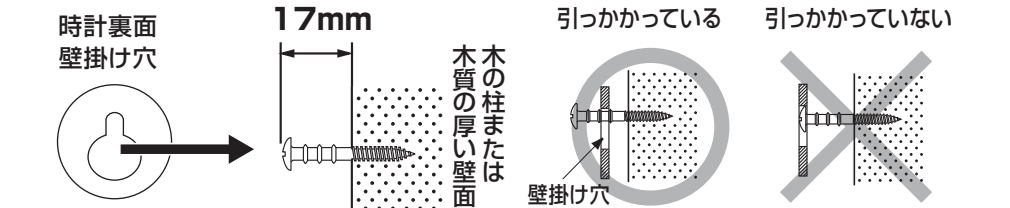
時計の掛け方

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

強制
○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
○**掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具（木ねじ）がしっかり掛かっていることを確認してください。**

注意
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●**付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。**
●木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。

その他の壁面の場合

●石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、**壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。**

電池の交換時期お知らせ機能

電池の交換時期になると、明るいところでも秒針が12時位置に停止したままになります。時針と分針は、このような状態になってから約1ヵ月程度動きますが、**速やかに新品の電池にすべて交換してください。**
※強制受信ボタンを押して受信しているときや手動で時刻を合わせているときは、明るいところでも秒針が停止します。

◆ 電池の交換　早めに交換して液もれを防ぎましょう

電池を長期間使い続けると、電池からの液もれが発生しやすくなります。電池からの液もれにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防止するためにつぎのことをお守りください。

注意
●時計が停止したときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
●時計が動いていても5年に1回定期的に交換する。
●古い電池と新しい電池、マンガンとアルカリ乾電池を混在して使用しない。
●電池の⊕⊖を逆に入れない。

推奨される電池

① 電池に「月ー年」で表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より5年以上先の年月表示があるもの
例．2015年3月に交換→「02-2020」より先の「使用推奨期限」表示がある電池
② 使用する電池は、同じメーカーで同一の「使用推奨期限」のもの
③ 未使用の電池
④ 単3形アルカリ乾電池

使用推奨期限の表示例→
手動での時刻合わせ　電波を受信できないとき、任意の時刻に合わせるとき

※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。
☞（Ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作）参照。

時刻合わせボタンを押すと、針が動き始めます。
○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
○時刻合わせボタンを押しつづけると早送りになります。
○時刻合わせボタンを押すと秒針は停止します。

秒針の動きについて
時刻合わせボタンを離したときに、ゼロ秒に設定されますが、秒針が指している時刻になるまで、最長で61秒程度停止しています。

Ⓑ 電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところで使用する場合や意図的に時間をずらしてお使いになるときには、電波を受信しないようにすることができます。この場合の時間精度はクオーツ精度になります。

※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
※電池を取り出しても設定を長い時間保持しています。

■電波受信機能をOFFにするには（停止するには）

図のように強制受信ボタンを4 回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。

〈受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください〉
※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

■電波受信機能をONにするには（開始するには）

電波受信機能をONに設定して工場を出荷しています。
時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。